

市営バスあさび一号の運行見直しに係る検討

1 検討にあたっての考え方について

- ◇ 現在の市営バスあさび一号の仕組みは、市民、学識経験者からの提言や、アンケート、高齢者世帯の居住分布などを踏まえて構築されました。運行ルートは病院やスーパー、鉄道駅を結ぶように設定され、人口が集積する市街地は、ほぼあさび一号の利用圏域（バス停から半径500m圏と設定）に含まれています。
- ◇ 利用者アンケートからは「ルート」、「停留所位置・間隔」、「運行全体」に関する満足度は高く、あさび一号の運行により外出回数が増えた傾向がみられるなど、あさび一号の運行目的である『市民生活の足として、交通空白地域の改善及び市民交流の促進を図り、もって外に出かけたくなるまちづくりを推進する』ためのサービス水準は確保されていると考えられます。
- ◇ しかし、超高齢社会の到来や、環境重視の生活スタイルへの転換、バリアフリー法の強化など、あさび一号をとりまく環境は大きく変わり、市民からは運行頻度の向上や朝夕運行など、新たな要望も出ています。
- ◇ このため、現行の仕組みの良いところは残しつつも、新しい社会動向を踏まえ、路線の見直しや利用者負担の検討、車両の更新など、運行見直しの検討に取り組みます。

2 今年度業務のプロセスについて

尾張旭市交通基本計画 【目指すべき交通体系】

- 路線バス（基幹路線） ●あさび一号（地域路線） ●その他（移動支援）

1. あさび一号の役割とサービス水準の整理

- 「尾張旭市交通基本計画」を踏まえ、あさび一号の役割とサービス水準を整理します。
 - ・公共交通の機能分類：広域路線（鉄道）、基幹路線、地域路線、移動支援

2. 個別課題への対応方針の設定

- あさび一号が有する個別課題（利用促進、利用者ニーズに応じた運行ダイヤの検討、安全性等に配慮した運行ルートの検討、積み残しへの対応）への対応方針を整理します。
 - ・利用促進
 - ・安全性等に配慮した運行ルートの検討
 - ・利用者ニーズに応じた運行ダイヤの設定
 - ・積み残しへの対応 等

3. 見直し素案の作成

- 利用実態を踏まえつつ、個別課題解消に向けた見直し素案を検討します。
 - ・運行方式
 - ・運行ルート（利用実態（OD）を踏まえた路線再編）
 - ・運行本数（ルート短縮に伴う増便）
 - ・運行時間帯（朝・夕のダイヤ変更 等）
 - ・所要時間（所要時間の短縮）
 - ・車両台数（車両更新に伴うバリアフリー化と道路状況に応じた車両選定）
 - ・利用料金（サービスに見合った料金設定）

市民懇談会
(9地区各1回)

4. 見直し案のとりまとめ

- 市民懇談会等で聴取した意見を踏まえて、運行見直し案を取りまとめます。

3 想定スケジュールについて

業務内容	平成26年						平成27年												平成28年				
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
1. あさび一号の役割とサービス水準の整理	■																						
2. 個別課題への対応方針の設定		■																					
3. 見直し素案の作成																							
(1) 見直しパターンの検討				■																			
(2) 運行ルート、想定所要時間、ダイヤの設定							■																
4. 市民懇談会の開催																							
5. 見直し案の取りまとめ																							
6. 新ルート停留所位置設定、関係機関調整																							
7. 車両購入																							
8. 地域公共交通会議の開催	●			●		●		●						●		●		●			●		
9. 再編ルート運行開始																							

条例改正が必要な場合は12月議会に上程
● 議決

4 平成26年度地域公共交通会議における報告・協議事項について

- ◇ 第1回会議：調査の概要とスケジュールについて報告
- ◇ 第2回会議：あさび一号の役割とサービス水準、個別課題への対応方針について協議
- ◇ 第3回会議：市民懇談会開催結果の報告、見直し素案（見直しパターン）について協議
- ◇ 第4回会議：見直し素案（運行計画案）について協議

5 市民懇談会について

- ◇ 市内9つの小学校区単位で各地区10名程度の出席者を募ります。
- ◇ 出席者をグループに分け、ワークショップ方式で実施します。
- ◇ 地域住民（バス利用者・非利用者）の目線で見たバスの利便性の向上や、公共交通の利用促進に向けたアイデアについて検討していただきます。

<市民懇談会のねらい>

懇談会のねらい
あさび一号の運行見直しについて、利用者目線より意見を引き出すとともに、利便性の向上や利用促進に向けた取り組みについて意見交換をし、マイバス意識を醸成する。

懇談会での意見の反映

- **あさび一号の事業理念の共有化**
 - ・バス事業理念（運行目的）の共有化
 - ・路線別の役割分担とサービス水準に対する意識の共有化
 - ・行政、住民、交通事業者の役割分担に対する意識の共有化
- **運行見直し素案への意見**
 - ・運行形態、ルート、バス停位置、ダイヤ、待合環境 等

【市民懇談会のイメージ】
参加者の意見をポストイットで整理

